

平成24年度協働事業として選定された事業の評価

No	課名	事業名	事業期間	協働の形態 委=委託 実=実行委員会 参=市民参加 共=共催 補=補助	事業費 (千円)	事業実施に向けて										事業実施段階					事業を振り返って			備考			
						協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	協働相手選定の理由は明確か	① できたか	② 役割を話し合ったか	③ 画等な立場で協力したか	④ 尊重したか	⑤ 相互の自主性・自立性を	⑥ 十分に話し合い役割分担を明確にしたか	⑦ 進捗状況や事業に関する情報を共有できたか	⑧ 要に応じた修正を行ったか	⑨ 取ったコミュニケーション	⑩ 情報をわかりやすく公開したか	⑪ お互いの信頼関係を築けたか	⑫ 事業の目的・目標を達成できたか		⑬ 課題と改善策を話し合ったか	⑭ 平均点	
1	議会事務局	声の市議会だより作成委託	4月～2月	委	57	音訳ボランティアグループ 福生いどでんわ	実	行	行政評価	Y	Y	Y	5	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.8	CD作成枚数 53枚
		協働理由	市民団体の特性を活かす。		事業の概要	年4回発行の市議会だよりの内容を音訳し、視覚障害者1.2級の登録者にデジラー方式により音訳したCD版を送付し、議会情報の提供を行う。										課題	市内在住の視聴覚障害者の方への事業周知と利用拡大が課題。個人情報保護法の壁を越えて、市情報を障害者に届けるには、障害福祉課その他庁舎内他部課との横の連携を密にすることが必要。										
2	総務課	平和祈念事業	4月～3月	実	220	平和のつどい企画委員会	企	行	行政評価	Y	Y	Y	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3.8	講演会242人参加	
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	「市民が語る福生・語り継ぐ昭和」と題して、市民会館小ホールで実施。講演、座談会、演奏を行った。										課題	戦争の実体験の話ができる講演者が高齢のため選定に苦慮している。										
3	国体推進室	国民体育大会開催準備事業	4月～3月	実・補	31,857	スポーツ祭東京2013第68回国民体育大会福生市実行委員会	企	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	委員数 106名	
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	平成25年に開催される国体に向けて設立した、「スポーツ祭東京2013第68回国民体育大会福生市実行委員会」に補助金を交付し、効率的な開催準備を推進する。										課題											
4	安全安心まちづくり課	安全安心まちづくり協議会	4月～3月	実	136	安全安心まちづくり協議会	企	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	4	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4.8	協議会の開催、年2回 委員数17名	
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	安全安心まちづくりは、自らの安全は自らが守るという意識のもと、市、市民及び事業者の相互理解を図るとともに、それぞれが密接な連携を図りながら協働することで推進していく。										課題											
5	安全安心まちづくり課	自主防犯パトロール	4月～3月	参	0	町会・自治会	実	行	行政評価	Y	Y	Y	5	4	4	4	4	4	3	4	3	5	4	3	3.9		
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	地域の安全を守るため各町会・自治会での自主的なパトロールの実施										課題	全町会・自治会でのパトロールの実施のため、今後安全安心まちづくりの醸成の機運を高める必要がある。(34町会・自治会のうち27団体実施)										
6	安全安心まちづくり課	各種防犯活動	10月	補・参	1,194	防犯協会、ボランティア	実	他	行政評価	Y	Y	Y	5	4	4	3	5	5	3	5	4	5	5	4	4.3	防犯活動推進員9人、助成防犯指導員9人	
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	全国地域安全運動に伴い、福生警察署管内古物商防犯協力が行う「地域安全自動車防犯パレード」に参加した。										課題											
7	安全安心まちづくり課	子ども110番の家	4月～3月	参	84	市民参加	企	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	3	4.7	登録者 1,057軒	
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	子供が身の危険を感じたときに、助けを求めることの出来る緊急避難場所として民家や商店等を指定し、子どもを犯罪から守る。										課題											
8	安全安心まちづくり課	交通安全推進指導	4月～3月	委	7,884	交通安全推進委員会、町会・自治会	企	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	交通安全推進委員会委員 100名	
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	福生市交通安全推進委員会、福生市町会長協議会へ交通安全の推進を委託し、更なる交通事故の減少を図る。										課題											
9	安全安心まちづくり課	自主防災組織の運営	4月～3月	補	5,683	自主防災組織	企	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	4	4	5	5	5	4	4.8		
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	34地区の自主防災組織に対し、組織の円滑な運営のために必要な補助金の交付を行い、災害時等の意識の高揚を図る。										課題											
10	安全安心まちづくり課	避難誘導標識の設置と維持管理	4月～3月	委	0	NPO法人 都市環境標識協会	企	相	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4.9	市内設置数6基	
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	避難誘導標識等の設置及び維持管理等を、民間企業等の地域貢献の協賛金などを活用することにより、市の費用負担なしで設置及び維持管理する。										課題	非常時に市民等の円滑な避難に資するものと考えているが、新規協賛企業の開拓が課題。										

No	課名	事業名	事業期間	協働の形態 委=委託 実=実行委員会 参=市民参加 共=共催 補=補助	事業費 (千円)	事業実施に向けて												事業実施段階			事業を振り返って			備考	
						協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	協働相手選定の理由は明確か	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫		平均点
												Y=はい N=いいえ	1:できなかった 4:ある程度できた	2:どちらかといえばできなかった 5:よくできた	3:どちらかといえばできた										
11	自由広場フリーマーケット	6月～3月	委	200	自由広場フリーマーケット実行委員会	行政評価	Y	Y	Y	4	5	3	4	4	4	4	4	4	4	4.1	全4回(6.9,12.3月) 9月は中止 226店 来場者2,904人				
						協働相手評価	Y	Y	Y	4	4	3	5	4	3	4	4	3	4	4		4	3.8		
協働理由		コミュニティの形成や展開を支援				事業の概要	自立した消費者の育成を図るため、市民及び民間団体を主体とした実行委員会に委託し行った。												課題						
12	消費者展・講演会・セミナー	4月～3月	委・実	915	消費者リーダー	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	4	5	4	5	4	4.7				
						協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	4	4	5	4	5	4	4		4.6		
協働理由		コミュニティの形成や展開を支援				事業の概要	消費者の啓発を図るため、消費者リーダーとの協働で、消費者セミナー、消費者展等の企画・立案をし、当日の運営にあたった。												課題						
13	福生七夕まつり	8月	委・実	30,000	七夕まつり実行委員会	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	4	4.1	人出 392,000人 ボランティア参加者 延べ537人			
						協働相手評価	Y	Y	Y	4	4	4	5	4	5	4	4	5	4	4	4.3				
協働理由		コミュニティの形成や展開を支援				事業の概要	実行委員会のもと、飾りつけ部会、模擬店部会、イベント部会が中心となり、ボランティア・市民を巻き込んだ形で実施した。												課題						
14	ふっさ桜まつり	3月～4月	補・実	3,120	桜まつり実行委員会	行政評価	Y	Y	Y	5	4	5	5	5	5	5	4	5	5	4	4.8	人出 40,000人			
						協働相手評価	Y	Y	Y	5	4	4	5	4	5	5	5	5	5	5	4		4.7		
協働理由		コミュニティの形成や展開を支援				事業の概要	桜の開花に合わせて、各種のイベント等を実施し、観光客の誘致を図り、商工業振興に寄与する。												課題	補助元である市が事務局業務を行っているため、本来の協働でなく、事務局指導型の運営になってしまう傾向がある。					
15	市民農園管理	4月～3月	共	3,720	市民農園使用者協力会	行政評価	Y	Y	Y	5	5	4	5	4	4	5	4	4	4	4.4					
						協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4.3					
協働理由		広く市民相互の支えあいを支援				事業の概要	市内7箇所の市民農園を、2年間を期間として貸出し、運営を使用者の団体である協力が会が行う。												課題	肥料の臭気や違法駐車への苦情への対応。					
16	ほたる祭	6月	補	1,400	熊牛町会	行政評価	Y	Y	Y	4	3	5	4	4	3	3	4	4	5	3	3.8	人出 35,000人			
						協働相手評価	Y	Y	Y	4	3	3	4	4	3	3	4	4	5	3	3.6				
協働理由		市民団体の特性を活かす				事業の概要	毎年6月中旬に行われる「ほたる祭」に対して、財政援助により支援をする。												課題	ほたる祭が盛大になるにつれて、交通警備員等の経費がかかり、厳しくなっている。					
17	剪定枝等破砕機管理委託	4月～3月	委	35	グリーンクラブ福生	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	4	4	4	5	3	4.5	貸出し実績 4件				
						協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	4	4	4	5	3		4.6			
協働理由		市民団体の特性を活かす				事業の概要	剪定枝等破砕機の貸出し、整備、保守点検等を委託し、市内農業者の農業活動に役立てる。												課題						
18	市民エキストラ登録制度	4月～3月	参	0	市民エキストラ	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	####				
						協働相手評価																			
協働理由		市民団体の特性を活かす				事業の概要	市民エキストラとして事前登録し、市内で行われるロケ撮影に市民ボランティアとして参加してもらう。												課題						
19	環境フェスティバル委託	4月～3月	委・実・参	1,100	福生環境フェスティバル実行委員会	行政評価	Y	Y	Y	4	4	5	4	5	5	5	4	5	5	4.7	出店団体数:39団体 来場者数:3,000人				
						協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	4	5	5	4.9					
協働理由		市民団体の特性を活かす				事業の概要	環境月間の6月に多摩川中央公園を会場に、地球環境、自然環境へのふれあいをテーマにした市民参加型イベントを企画し開催。												課題	市民の自主的、主体的な運営を目指し、分科会を設立、会議を行ってきたが、企画から実施への方法が見えづらいようで、事務局主導である状況は改善する必要がある。					
20	水辺の楽校運営委託	4月～3月	委・実	1,400	水辺の楽校運営協議会	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	4.0	多摩川で遊ぼう 12回実施 多摩川講座 4回実施				
						協働相手評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	4	5	4	4	4	4.1					
協働理由		市民団体の特性を活かす				事業の概要	国土交通省の水辺の楽校プロジェクトに基づき、多摩川の水辺で子どもたちのための自然体験の場、遊び場を作る。												課題	年齢の低い子どもの増加に対して、対応が不十分。ボランティアスタッフの育成。					
21	市民環境大学運営委託	4月～2月	委	590	NPO法人自然環境アカデミー	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	6回実施				
						協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0					
協働理由		市民団体の特性を活かす				事業の概要	「市民環境大学」事業は、市民が環境問題を学習する機会として実施。毎年テーマを決める。												課題	早い段階で参加者同士のコミュニケーションを図ること。環境問題の諸課題に積極的に取り組む環境リーダーの育成。					
22	福生スクラムマイナス50%事業	4月～3月	実	0	福生スクラム・マイナス50%協議会	行政評価	Y	Y	Y	4	4	3	4	3	4	4	4	4	3	3.7	緑のカーテンコンテスト 応募15組				
						協働相手評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.0					
協働理由		広く市民相互の支えあいを支援				事業の概要	2030年までに、市内から排出される二酸化炭素を50%削減(2004年比)するという目標を達成する。												課題	協議会のメンバーが多忙な方々であり、緊急的に動かなければならない事案が発生した場合などに、小回りが利かないと感ずることがある。各事業への補助金配分機関となってる位置づけの是非を考える必要がある。					
23	かんきょう通信編集会議	4月～3月	参	0	かんきょう通信市民編集委員	行政評価	Y	Y	Y	5	5	4	5	5	5	4	5	4	4	4.6	2回発行				
						協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	4	5	4	4	4.7					
協働理由		市民団体の特性を活かす				事業の概要	市民への環境に対する意識啓発及び環境事業等のPR。												課題	編集員の人数がもう少し増えるようPRしてほしい。					

No	課名	事業名	事業期間	協働の形態 委=委託 実=実行委員会 参=市民参加 共=共催 補=補助	事業費 (千円)	事業実施に向けて										事業実施段階					事業を振り返って			備考		
						協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	協働相手選定の理由は明確か	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫		平均点	
												Y=はい N=いいえ	1:できなかった 4:ある程度できた	2:どちらかといえばできなかった 5:よくできた	3:どちらかといえばできた	4	5	4	5	4	5	4	5			
24	環境学習教員研修	市民団体の特性を活かす	8月	参	51	市民・NPO法人自然環境アカデミー	企 行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	5	5	5	5	5	5	5	4	5	4	4	4.6	参加人数:新規採用教員対象15名、2年 目教員対象16名
								協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
25	地域猫制度	市民団体の特性を活かす	4月~3月	補・共	700	福生地域ネコの会	企 行	行政評価	Y	Y	Y	4	5	5	3	4	4	4	5	3	4	4	4	4	4.1	10地区 77頭
								協働相手評価	Y	Y	Y	3	3	3	3	3	3	4	4	3	4	3	4	3	4	
26	福生キャンドルナイト実行委員会	市民団体の特性を活かす	8月~11月	実	0	福生キャンドルナイト実行委員会	企 行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	4	5	5	4	5	5	5	4	4.8	来場者数800人	
								協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	3	5	5	5	5	5	5	5	5	5		5
27	廃棄物減量等の推進	広く市民相互の支えあいを支援	4月~3月	実	634	廃棄物減量等推進員	実 行	行政評価	Y	N	Y	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.0		
								協働相手評価	Y	N	Y	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4		4
28	環境マネジメントシステム市民監査委員	市民団体の特性を活かす	4月~3月	参	133	市民監査委員	実 行	行政評価	Y	Y	Y	4	5	5	5	4	5	5	5	4	5	4	5	4.7	市民監査委員 9名参加	
								協働相手評価	Y	Y	Y	4	4	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4		4
29	花いっぱい運動	広く市民相互の支えあいを支援	4月~3月	委・参	667	ふっさ花とみどりの会	実 行	行政評価	Y	Y	Y	4	3	3	3	3	5	4	4	5	4	4	4	3.8	会議等24回実施	
								協働相手評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4		4
30	男女共同参画情報誌作成	広く市民相互の支えあいを支援 団体の特性を活かす	4月~3月	委・参	1,204	NPO法人NAFA子育て環境支援センター・市民編集員	実 行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	3回発行 各回28,500部	
								協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	4	5	5	5	5	5	5		5
31	男女共同参画啓発物作成	市民団体の特性を活かす	4月~3月	参	0	市民活動団体	実 行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	成人式でのチラシ配布 431人	
								協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		5
32	福東会館管理業務委託	市民団体の特性を活かす	4月~3月	委	3,002	福東町会	実 行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	開館日数 年間307日 利用状況 1,026件 11,831人	
								協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		5
33	福東会館清掃委託	広く市民相互の支えあいを支援	4月~3月	委	260	NPO法人 青少年自立援助センター	企 行・相	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0		
								協働相手評価	Y	Y	Y	4	4	5	4	4	5	5	5	4	3	4	5	4.3		
34	市民活動団体事業支援補助事業	市民団体の特性を活かす	5月~3月	補	200	市民活動団体	企 行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	2団体、200,000円交付	
								協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		5
35	地域コミュニティ活性化の推進	コミュニティの形成や展開を支援	4月~3月	補	570	福生市町会長協議会	実 行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4.8		
								協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4		4.8

No	課名	事業名	事業期間	協働の形態 委=委託 実=実行委員会 参=市民参加 共=共催 補=補助	事業費 (千円)	事業実施に向けて										事業実施段階					事業を振り返って			備考	
						協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	協働相手選定の理由は明確か	① できたか	② 役割を話し合ったか	③ 対等な立場で進めたか	④ 相互の自主性・自立性を尊重したか	⑤ 十分に話し合い役割分担を明確にしたか	⑥ 進捗状況や事業に関する情報を共有できたか	⑦ 進捗状況や課題を修正したか	⑧ 取ったコミュニケーション	⑨ 情報をわかりやすく公開したか	⑩ お互いの信頼関係を築けたか	⑪ 事業の目的・目標を達成できたか	⑫ 課題と改善策を話し合ったか		平均点
36	精神障害者グループホーム補助金	4月～3月	補	1,836	NPO法人グループホームけやき	実	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	4	4	4	4	5	4	4	4	4.4	
						協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	4	4	5	4	5	4	4	4.7	
		協働理由	市民団体の特性を活かす			事業の概要	NPO法人グループホームけやきに対し、その運営費の一部を補助することにより、精神障害者の地域社会における生活の場を確保し、自立と社会参加を促進する。										課題								
37	各種団体補助金	4月～3月	補	238	福生市手をつなぐ親の会 福生市身体障害者福祉協会	実	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	4	4	4	4	4	5	4	4	4	4	4.3	
						協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	4	4	5	5	5	5	5	5	4.8		
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援			事業の概要	知的障害者、身体障害者及びその家族で構成されている会に対し、その運営費(各種行事、研修等)の一部を補助することにより、障害者の社会参加を促進する。										課題								
38	障害福祉課 障害者日中活動サービス推進事業補助金	4月～3月	補	19,330	社会福祉法人 福生ひまわり会	実	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	4	4	4	5	4	4	4	4.6	開所日数242日、定員20名
						協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	4	4	5	4	5	4	4	4.6			
		協働理由	市民団体の特性を活かす			事業の概要	小規模通所授産施設として、障害者を対象に、通所による生活指導・作業訓練等の社会適応訓練事業を実施するための事業費の一部を補助する。										課題								
39	心身障害者一時保護施設運営費等補助金	4月～3月	補	783	福生市手をつなぐ親の会	実	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	4	4	4	5	4	4	4	4.6	
						協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	4	4	5	4	5	4	4	4.6			
		協働理由	市民団体の特性を活かす			事業の概要	在宅の心身障害者の夜間における一時保護及び社会的自立に向けた訓練等の運営費の一部を補助することにより、心身障害者福祉の推進を図る。										課題								
40	障害者地域自立支援協議会	4月～3月	実	14	障害者(児)関連団体	実	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	4	5	5	5	4.9	
						協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	4	5	5	5	4.9			
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援			事業の概要	障害者(児)が地域における自立した生活や社会生活が営めるよう地域での福祉に関する課題等につき、連絡調整・対応策等の検討を含め障害福祉のネットワークを推進する。										課題	地域が抱えている問題を上げる体制は2年間の協議会の中でできてきており、今後は専門部会を設け、分野別に課題に取り組む体制づくりを行う必要がある。							
41	ボランティアまちづくり事業	4月～3月	補	10,989	福生市社会福祉協議会	実	行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	4	4.6	登録団体数:165団体、登録者数:5,136人	
						協働相手評価	Y	Y	Y	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	4	4.6				
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援			事業の概要	社会福祉協議会が行っている「ふっさボランティア・市民活動センター」の運営に必要な経費を補助し、福祉の分野におけるボランティア活動の拡大を図る。										課題								
42	介護福祉課 敬老大会ボランティア	9月	参	0	市民参加	実	行	行政評価	Y	Y	Y	5	4	5	5	5	5	5	4	5	5	4	4.8	敬老大会 来場者数:約1,000人 公募ボランティア:3名	
						協働相手評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.1			
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援			事業の概要	市民会館大ホールで行われる敬老大会の会場整理等を公募によるボランティアにお願いしている。										課題								
43	地域福祉推進事業	4月～3月	補	5,738	NPO法人ケアサービスいずみ	実	行	行政評価	Y	Y	Y	5	4	4	4	5	5	4	4	4	5	5	5	4.5	有償家事援助サービス 942件 1,244時間、 移送サービス 139件 1,973km
						協働相手評価	Y	Y	Y	5	4	4	5	5	4	4	4	5	5	5	4.6				
		協働理由	市民団体の特性を活かす			事業の概要	NPO法人が実施する高齢者等に対する家事援助事業及び移送事業等の福祉サービスに対し、財政支援をし在宅サービスの確保を図る。										課題								
44	在宅福祉活動ボランティア	4月～3月	補	1,209	福生市社会福祉協議会	実	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	4	5	5	5	5	5	5	5	5	4.9	利用者数 200人 利用回数 200回、 運転ボランティア 220人、走行距離 4,143km	
						協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	4	5	5	5	5	5	5	5	5	4.9				
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援			事業の概要	運転ボランティアが運転するリフトカーにより、歩行困難な高齢者等に社会参加や地域とのふれあい事業の参加の機会を確保する。										課題	運転ボランティアの高齢化							
45	健康まつり	10月	参	2,526	各種団体	実	行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	5	4	4	4	4	4	4	4	4.1	協力団体 23団体、来場者 1,500人	
						協働相手評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	3.9				
		協働理由	市民団体の特性を活かす			事業の概要	中央体育館において、市内各種団体が、健康や暮らしの安全に関するイベントコーナーを運営する。										課題	中央体育館での限られたスペースを各団体が有効活用し、来場者から好評を得たが、屋外のため活動が制限されもう少しスペースがあればもっと凝ったイベントができたのではとの声が寄せられた。							
46	健康ふっさ21事業	4月～3月	参	549	健康づくり推進員	企	行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	4	3.8	推進員登録者数104名	
						協働相手評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	3.9					
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援			事業の概要	福生市健康づくりプラン「健康ふっさ21」に基づき、市民の健康づくりの活動、啓発活動等を行う。										課題	月1度の定例会の開催日が固定されているため参加できる方が限られてしまう傾向がある。全員がそろっての十分な活動ができていない。							

No	課名	事業名	事業期間	協働の形態 委=委託 実=実行委員会 参=市民参加 共=共催 補=補助	事業費 (千円)	事業実施に向けて										事業実施段階					事業を振り返って			備考	
						協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	協働相手選定の理由は明確か	① できたか	② 役割を話し合ったか	③ 画等な立場を進められたか	④ 相互の自主性・自立性を尊重したか	⑤ 十分に話し合い役割分担を明確にしたか	⑥ 進捗状況や事業に関する情報を共有できたか	⑦ 進捗状況や課題を修正したか	⑧ 取ったコミュニケーション	⑨ 情報をわかりやすく公開したか	⑩ お互いの信頼関係を築けたか	⑪ きた目的・目標を達成できたか	⑫ 課題と改善策を話し合ったか		平均点
47	学童クラブ事業	4月～3月	委	33,662	NPO法人ワークスコープ	実	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	登録児童数 513人
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	保護者の就労等で放課後、家庭で適切な保育を受けられない小学1年生から4年生までの児童を対象に、遊びや生活の場を提供する。										課題	学童クラブ在籍数の減少についてどのような育成や居場所としての充実を望んでいるか把握が必要。								
48	子ども育成課	4月～3月	委	94,886	NPO法人ワークスコープ	実	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	遊びなどを通して仲間づくりや活動、子育て拠点の場として、幼児の遊びや母親等に交流の場を提供する。中・高校生の活動の支援等、居場所づくりの取組み										課題	災害時等の対応として、地域との連携、保護者との連携の体制作り。								
49	子育てシンポジウム	5月	委	94,886	NPO法人ワークスコープ	実	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	シンポジウム参加者 83人
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	第4回「子育てシンポジウム」基調講演とパネルディスカッションにより、福生の子どもの今、そして今後について考える。										課題	参加者は事業関係者が多数を占め、一般参加者(子育て世代の保護者等)が少なかった。市民への周知に課題がある。								
50	子育て支援課	4月～3月	共	29	社会福祉協議会、保育園、幼稚園、子育てサークル、子育てボランティア団体	企	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4.9	講演会66名参加	
		協働理由	コミュニティの形成や展開を支援		事業の概要	地域組織化事業の一環として、各団体の情報交換や支援方法の検討を定例会(2回実施)で行い、私の子育てPARTⅡをテーマとした講演会を開催した。また、お出かけ前の持ち物確認等を記入した子育てマップを作成した。										課題	連絡会の細やかな運営を代表となった少数の役員が決めていたこともあり、全体での確認作業ができていない状況にあった。								
51	まちづくり計画課	4月～3月	共	0	まちづくり景観推進連絡会	企	行	行政評価	Y	Y	Y	5	4	4	4	4	4	5	5	4	5	4	4	4.4	推進連絡会 毎月1回開催
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	まちづくり景観推進連絡会と市が協働して、福生市全体の景観まちづくりを考え、歴史ある景観を保全している。										課題	目標とした宿橋通りの改善にたどり着くまで時間がかかった。								
52	施設課	4月～3月	参	0	町会、市民団体	企	行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.0	20団体 138名登録
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	道路上の屋外違反広告物の撤去作業を、市民と市が協働で活動することにより、市道の適正な管理に努めていく。										課題	ボランティアメンバーの道路作業上における交通安全確保が懸念される。継続したメンバーの育成を考えていく。								
53	施設課	4月～3月	参	0	市民団体	企	行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.0	18団体 223人のボランティア会員
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	道路への美観風致を維持し、歩行空間の確保及び良好な維持・向上を図るため、市民と市が協働で活動し、市道の適正な管理に努める。										課題	ボランティアの道路内作業における交通安全上の問題が危惧される。継続したメンバーの育成を考えていく。								
54	施設課	4月～3月	参	0	福生萌芽会	企	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	毎月第2日曜日に活動 会員数25名
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	福生市内の豊かな生態系の雑木林の再生を目指して、ワークショップ方式による市民参加型のボランティアにより、萌芽更新を実施する。										課題	萌芽会ボランティアメンバーの世代交代、萌芽更新継承者の開拓。								
55	施設課	4月～3月	参	0	ボランティア	企	行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4.0	個人343名 6団体登録
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	公園ボランティアが行う公園内の環境美化活動を推進する。										課題	市が取りまとめ等を行い、自主的な公園ボランティアの取組みが行われる工夫が必要。								
56	選挙管理委員会事務局	8月～11月	共	317	明るい選挙推進協議会	企	他	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	発行回数年1回、編集会議3回
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	年度中における選挙終了後、啓発誌「白バラ」を年一回発行する。										課題									
57	選挙管理委員会事務局	4月～3月	共	455	明るい選挙推進協議会	企	他	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	成人式会場での常時啓発と、駅頭等やのぼり旗の掲出及び市内全域を広報車による選挙時啓発を実施。										課題									
58	教育委員会庶務課	4月～3月	参	227	PTA・市民	企	他	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3.9	児童・生徒344名 保護者153名 市民37名	
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	地域清掃活動・校内美化、施設の修繕を実施し、教育環境の向上を図るとともに、児童・生徒に物の大切さを教える。										課題	##### 教職員61名								

No	課名	事業名	事業期間	協働の形態 委=委託 実=実行委員会 参=市民参加 共=共催 補=補助	事業費 (千円)	事業実施に向けて										事業実施段階					事業を振り返って			備考			
						協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	協働相手選定の理由は明確か	① できたか	② の役割を話し合ったか	③ 画等な立場を進めたか	④ 尊重したか	⑤ 十分に話し合ったか	⑥ 進捗状況や事業に関する情報を共有できたか	⑦ 進捗状況や修正したか	⑧ 取ったコミュニケーション	⑨ 情報をわかりやすく公開したか	⑩ お互いの信頼関係を築けたか	⑪ 事業の目的・目標を達成できたか	⑫ 課題と改善策を話し合ったか		平均点		
59	指導室	アドバイザースタッフ	4月～3月	委	219	市民・大学生((社)学術・文化・産業ネットワーク多摩)	企	行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	4	3	3.3	実施回数 219回、登録者数 15人
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	教育相談室、学校及び家庭における生徒等に対する話し相手、遊び相手としての援助、その他教育相談のために必要なことを行う。										課題											####
60	指導室	学校ボランティア	4月～3月	参	0	地域の市民、保護者	実	行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	3	3	4	4	3	3	4	4	3	3	3.6	
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	学校支援のために、様々なボランティア活動をして、地域に根付いた学校づくりを進める。										課題	各学校で異なる事業でボランティアを活用しているため、事業効果を定量的に評価することが難しい。										
61	指導室	学習指導市民講師	4月～3月	委	222	市民、NPO	企	行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	4	4	4	4	3	4	4	4	4	4	3.9	実施回数 74回、登録者数 32人
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	地域の人材を活用した学習指導講師										課題	現在、小学校においては総合的な学習の時間を中心に、中学校においては教科・課外学習で活用している。新学習指導要領の改定により、授業時間数が増えるので、各学校での有効な活用方法の検討が必要となる。										
62	生涯学習推進課	成人式の開催	9月～1月	実・参	1,419	成人式実行委員会 市民ボランティア	実	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	新成人実行委員 10名
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	「成人式式典」及び「成人のつどい」を、教育委員会と新成人による成人式実行委員会、市民ボランティアとの協働により実施する。										課題	実行委員で実際に動ける委員が限られてしまうため、一人ひとりの負担が大きかった。										
63	生涯学習推進課	地域まなびあいボランティア	4月～3月	参	4	地域まなびあいボランティア登録者	実	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	4	4	5	4	5	5	5	4.7	登録者 22人(団体含む)	
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	新たに地域で行事を計画している方、または町会・自治会・子ども会等地域で活動している団体に、教育委員会に登録している講師や指導員を派遣する。										課題	登録者の減少、高齢化										
64	生涯学習推進課	ふっさ輝きフェスティバルの開催	5月	実・補	800	青少年育成地区委員長会	企	行	行政評価	Y	Y	Y	5	4	4	5	4	4	5	5	5	5	5	5	4.7	会議:理事会5回 全体会6回、関係者参加状況:前日準備48人 当日590人	
		協働理由	コミュニティの形成や展開を支援		事業の概要	青少年の健全育成を図るとともに、家庭の日の推進を目的とし、多摩川中央公園にてイベントを開催する。										課題	エリアが砂利敷きの場所のため風や人の移動で埃が舞ってしまう。										
65	生涯学習推進課	軽スポーツ・とん汁会の開催	9月～11月	実・補	800	青少年育成地区委員長会	企	相	行政評価	Y	Y	Y	5	4	4	5	4	5	5	5	5	5	5	5	4.8	会議:理事会3回 全体会7回、関係者参加状況:前日準備388人 当日352人	
		協働理由	コミュニティの形成や展開を支援		事業の概要	青少年の健全育成を図るとともに、家庭の日の推進を目的とし、多摩川中央公園にてイベントを開催する。										課題	とん汁にお客が集まり、待たせることが多くなってしまった。										
66	生涯学習推進課	ふっさっ子の広場事業	4月～3月	参	55,638	市民	実	行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.8	サポーター登録(7校)414人 サポーター参加者数 1,219人	
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	放課後、学校施設を活用し、安全な見守りのもとで、子どもたち同士や地域の人たちとの交流を通じ児童の健全育成を図る。										課題	各「ふっさっ子の広場」により、ボランティアに来てくれる人数・内容に差がある。										
67	生涯学習推進課	青少年海外派遣事業派遣生事前研修	5月～7月	参	8,064	地域まなびあいボランティア登録者	実	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	練習3回(1回3時間) 海外派遣生12名	
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	海外派遣事業でアメリカに行った際に、相互の文化交流の一環として、日本の文化紹介のために踊りを披露する。そのための練習を行うに当たり指導いただく。										課題	派遣生にとって踊りのなじみがないのか、うまく踊れない人が出てしまった。										
68	生涯学習推進課	学校支援地域組織事業	4月～3月	参	3,334	学校支援サポーター	実	行	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.8	サポーター数 150人	
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	各学校に学校支援コーディネーターを配置し、学校と支援者である学校支援サポーターとの連絡調整をして、学校のニーズと地域の力をつなぎ合わせコーディネートしていく。										課題	学校支援地域組織事業が周知されていない。										

No	課名	事業名	事業期間	協働の形態 委=委託 実=実行委員会 参=市民参加 共=共催 補=補助	事業費 (千円)	事業実施に向けて												事業実施段階					事業を振り返って			備考
						協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	事業目的は明確か	目標を明確にしたか	協働相手選定の理由は明確か	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	平均点		
												Y=はい N=いいえ	1:できなかった 4:ある程度できた	2:どちらかといえばできなかった 5:よくできた	3:どちらかといえばできた											
69	ウォーキング事業	市民団体の特性を活かす	4月～3月	参	51	福生ウォーキング・タートルズ	企 行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	年3回実施 参加者138人		
								協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		5	5
	協働理由		市民団体の特性を活かす		事業の概要		春・秋・新春ウォーキングの企画立案並びに実施・運営を市内ウォーキングサークル「福生ウォーキングタートルズ」との協働により実施する。												課題							
	70	市民総合体育大会運営	市民団体の特性を活かす	5月～3月	委	1,612	NPO法人 福生市体育協会	企 行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	29種目 6,866人参加		
									協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		5	5
	協働理由		市民団体の特性を活かす		事業の概要		市民総合体育大会の各競技大会運営並びに関連する事務を福生市体育協会に委託し開催する。												課題							
	71	中央体育館の運営	市民団体の特性を活かす	4月～3月	委	28,784	NPO法人 福生市体育協会	実 行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	実施事業数32 延べ利用者数116,588人		
									協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		5	5
	協働理由		市民団体の特性を活かす		事業の概要		受付業務、館内巡回、事業、管理運営の一部												課題							
	72	各種大会派遣	市民団体の特性を活かす	4月～3月	委	787	NPO法人 福生市体育協会	企 行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	4大会 27種目 336人派遣		
									協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		5	5
	協働理由		市民団体の特性を活かす		事業の概要		都民体育大会ほか開催時の選手派遣及びそれに伴う業務全般。												課題							
73	福東グラウンドトイレ清掃	市民団体の特性を活かす	4月～3月	参	0	福東グラウンド使用団体	企 相	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0				
								協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		5	5	5.0
協働理由		市民団体の特性を活かす		事業の概要		福東第一・第二少年野球場に併設しているトイレを利用団体の申し入れにより、自主的に清掃している。												課題								
74	ジュニアスポーツ体験・育成事業	市民団体の特性を活かす	4月～3月	委	2,094	NPO法人 福生市体育協会	企 相	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	5教室実施 参加者 1,045人			
								協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		5	5	5.0
協働理由		市民団体の特性を活かす		事業の概要		就学前児童及び小学生を対象に様々なスポーツの体験を通じ、基礎運動能力の育成及びスポーツを好きになる子どもの育成を目的に教室を開催する。												課題								
75	生活習慣病予防事業	市民団体の特性を活かす	4月～3月	委	1,125	NPO法人 福生市体育協会	企 相	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	3教室実施 参加者 564人			
								協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		5	5	5.0
協働理由		市民団体の特性を活かす		事業の概要		ウォーキング、筋力トレーニングなどの運動を通じ、自らが予防対策を講じられることを目的に年代別健康体力づくり教室を実施する。												課題								
76	芝生管理業務	市民団体の特性を活かす	4月～3月	参	0	NPO法人 福生市体育協会	企 相	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0				
								協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5		5	5	5.0
協働理由		市民団体の特性を活かす		事業の概要		南公園グラウンド内の芝生を使用者からの申し出により、使用者自らが芝刈りを行う。												課題								
77	公民館のつどい	市民団体の特性を活かす	4月～11月	実	50	公民館のつどい実行委員会	企 行 相	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	5	4	4	4	5	4	4	4	4.2	準備・実行委員会 7回 延べ121人参加		
								協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	4	4	5	5	5		5	4.8
協働理由		市民団体の特性を活かす		事業の概要		①出会い、知り合い、交流していくために、分野を越えた交流の場にする。②公民館で活動することの意味を考える。③活動し、交流しあう中で、生活や地域の課題を考える。④つどいが、ひとつのきっかけとなって、後に横につながりあえる場を持ち続ける。												課題								
78	本館まつり	市民団体の特性を活かす	4月～7月	実	303	本館まつり実行委員会	企 行 相	行政評価	Y	Y	Y	5	4	5	5	4	4	5	5	4	5	4	4.6	参加者人数 2,327人		
								協働相手評価	Y	Y	Y	5	4	5	5	4	4	5	5	4	5	4	5		4	4.6
協働理由		市民団体の特性を活かす		事業の概要		自主団体を中心とした実行委員会が、進行や記録づくり、各部門の進捗状況の確認を行い、職員は事務局として様々な調整を行った。												課題 参加する団体には実行委員会に必ず参加してもらうこと。								
79	第30回市民音楽祭	市民団体の特性を生かす	6月	共	587	福生市音楽愛好者連絡会	企 相	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	4	5	5	5	4.9	来場者498人、出演者323人		
								協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	4	5	5	5	5		5	4.9
協働理由		市民団体の特性を生かす		事業の概要		福生市音楽祭の開催に向け公民館職員が事務局となり実施に向けて会員団体(サークル)との連絡会議を行っている												課題 参加団体を増やすこと。								
80	本館利用者研修会	市民団体の特性を活かす	10月～3月	共	25	公民館本館利用者連絡会	企 行 相	行政評価	Y	Y	Y	4	4	4	5	4	4	5	5	4	4	4	4.4	45人参加		
								協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4	4		4	4.8
協働理由		市民団体の特性を活かす		事業の概要		社会教育や公民館についての理解を深めるため、研修会を実施する。												課題 参加者がいかに自分たちの活動に引き付けて、学習していけるか。								
81	市民文化教室	市民団体の特性を活かす	7月～1月	共	300	福生市文化協会	企 相	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	4	4	4	5	4	4	4.6	参加者人数 894人	
								協働相手評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	4	4	4	5	4	4	4	4		4.5
協働理由		市民団体の特性を活かす		事業の概要		市民の文化活動への要求に応え、個々の創造的感性を養い、地域での人と人のつながりを得る契機とし、豊で活力ある日常生活の実現と地域文化の向上を目指し実施する。												課題 コースによっては参加者が少なく、全体的には若い世代の参加者が少ない。								

No	課名	事業名	事業期間	協働の形態 委=委託 実=実行委員会 参=市民参加 共=共催 補=補助	事業費 (千円)	事業実施に向けて												事業実施段階					事業を振り返って			備考
						協働相手方	協働開始の時期	協働への呼びかけ	協働相手選定の理由は明確か	目標を明確にしたか	協働相手が選定されたか	① できたか	② 役割を話し合ったか	③ 画等な立場を進めたか	④ 相互の自主性・自立性を尊重したか	⑤ 十分に話し合い役割分担を明確にしたか	⑥ 進捗状況や事業に関する情報を共有できたか	⑦ 進捗状況や課題を修正したか	⑧ 取ったコミュニケーション	⑨ 情報をわかりやすく公開したか	⑩ お互いの信頼関係を築けたか	⑪ 事業の目的・目標を達成できたか	⑫ 課題と改善策を話し合ったか	平均点		
82	公民館	公民館講座等学級教室講座講師	3月	共	10	地域福祉学習会ハートフル	企	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	参加者数 20人
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	公民館サークルとの共催事業として孤独死をテーマにして福祉講座を実施し、地域福祉の現状や課題について学習した。		課題																		
83	公民館	市民文化祭の開催	4月～12月	実	3,927	福生市文化祭実行委員会	企	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	4	5	5	5	5	5	5	4.9	参加者数 260人
		協働理由	コミュニティの形成や展開を支援		事業の概要	市内で行われている文化活動の成果を発表する機会を提供し、市民文化の向上と、潤いのある市民生活の実現に寄与する。		課題	事務局に依存して部分が伺える。																	
84	公民館	主催事業(お話し会・お楽しみ会)	4月～3月	共	0	ポケット☆ポケット、おはなしのもり、おかし座	企	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	おはなし会実施回数69回
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	月1回開催している「小学生・乳幼児向けおはなし会」や影絵劇などをボランティアグループ、影絵サークルとの協働で実施している。		課題	新規ボランティアの拡充。部屋の雰囲気作り。																	
85	公民館	図書館おはなし会「ぶっくん」	5月～6月	共	0	おはなしのもり	企	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	1回実施 20人参加
		協働理由	市民団体の特性を活かす		事業の概要	子どもたちが本に親しみ、読書の普及を図るため、小学校へ訪問し1年生を対象に「お話し会」「お楽しみ会」をボランティアと協働で実施。		課題	学校等の連携(開催時間、場所、必要な用具の連携の徹底)																	
86	図書館	図書の配架、館外美化	4月～3月	参	0	市民個人ボランティア	実	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	書架整理 82回 花植え2回
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	市民の図書館を目指し、より開かれた図書館を実現するパートナーとして図書館業務の補助、館外美化活動を実施する。		課題																		
87	図書館	ヤングアダルト図書会議	4月～3月	参	0	中高生	企	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	年3回発行 11名登録
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	市内の中学生、高校生ボランティアの編集により、PR新聞を発行し、市内の各図書館、各中学校図書室等で配布する。		課題	編集スタッフの募集に苦慮している。																	
88	図書館	学校図書館支援サービス	4月～3月	参	0	各小中学校図書館職員、担当教師、保護者、ボランティア	企	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	改造作業実施 1校 アドバイス 2校
		協働理由	広く市民相互の支えあいを支援		事業の概要	年間1校を目標に担当教師、保護者、ボランティア、図書館職員で学校図書館改造計画の策定と改造事業を連携して行う。		課題																		
89	公民館	子ども家庭支援センターでのお話し会	4月～3月	共	0	お話ボランティア「ポケット☆ポケット」	企	行	行政評価	Y	Y	Y	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5.0	参加者数 107人
		協働理由	市民団体の特性を活かす。		事業の概要	親子のスキップのひとつとして絵本の素晴らしさを知ってもらうため、子ども家庭センターで絵本・紙芝居のよみかきせや手遊びを行う。		課題																		